

令和2年度 学校経営報告

東京都立羽村特別支援学校長
田口 克己

1 今年度の取り組み目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策（実施数値の結果は「(2) 重点目標と方策」を参照）

ア 学習指導

児童・生徒の自己の価値意識を高められるよう自己研鑽に励み、人権尊重教育を基に障害の状態等の理解を深め、教育的ニーズを的確に把握し、分かりやすい見通しとスモールステップで進める指導に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：92.7%】（前年度：92.5%）

イ 生活指導

社会的規範を理解し、安全を守る力や自分を律する力を備え、良好な人間関係を築き、学校での生活や学習活動を充実させ、児童・生徒が意欲をもって登校する学校を目指して方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：94.6%】（前年度：95.2%）

ウ 進路指導

12年間を見通したキャリア教育（ライフキャリア・ワークキャリア）に関する指導の充実を目指し、共生社会の一員として必要な知識・技能、態度を身に付け、将来に夢をもてる児童・生徒を育成する。卒業後の充実した生活（定着率の重視を含む）を目指した学校全体での進路指導を推進し、進路に関する適切な情報提供と必要な説明責任を果たす。児童・生徒を中心に保護者・担任・進路担当の各々が協力し、合意形成を図りながらより良い進路を実現するための方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：85.3%】（前年度：88.3%）

エ 体づくり・食育・健康教育

規則正しく、健全で健康的な生活ができる児童・生徒を育成する観点からの方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：90.2%】（前年度：91.5%）

オ 特別活動・部活動及びスポーツ振興

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。表現活動の充実を図り、人間としての在り方・生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養うための方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：92.8%】（前年度：95.1%）

カ 特別支援教育のセンター的機能

地域の特別支援教育の地域の障害のある子供や保護者、保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校の支援のための方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：79.1%】（前年度：84.9%）

キ 学校経営・組織体制

保護者や地域に信頼される学校を目指して、厳正な教職員の服務により、適正な教育課程の編成・実施・評価と、施設・環境の整備や計画的な自律経営推進予算の編成・執行、ライフ・ワーク・バランスの実現、委託業者等関係者との連携、学校の大規模化、自然災害など様々な課題に対し、公正かつ効率的な学校経営を行うための方策に取り組んだ。
【学校評価：保護者の肯定的回答：91.1%】（前年度：92.3%）

○ 保護者アンケート回答率

| | 小学部 | 中学部 | 高等部 | 全校 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 平成30年度 | 84.0% | 95.3% | 68.8% | 79.0% |
| 令和元年度 | 83.2% | 89.4% | 77.9% | 81.8% |
| 令和2年度 | 87.0% | 74.0% | 67.0% | 75.0% |

(2) 重点項目と数値目標

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策について重点的に実施した。
- ・通常の数値目標をあえて修正せず、具体的な影響を数値化した。
- ・数値目標に関して、数値が出ている項目については、感染症防止対策を工夫することで規模縮小の形で実施できた。

ア 学習指導

| | |
|------------------------------|--|
| 学期ごとの授業参観期間の実施 (9日間) | <6/22-24 : 中止、9/16-18 : 245名、1/18-20 : 中止> |
| 土曜参観日の設定 (10/3土) | <各学部1年生対象、小学部:39名、中学部:37名、高等部:54名> |
| 全員研究授業の実施 (200回以上) | <206回> |
| 教材制作研修会の実施 (5回以上) | <2日間+アドバイザー-来校15回> |
| 外部専門員の活用 (1500時間以上) | <1785時間> |
| 作業製品の地域販売 (7回以上) | <1回> |
| 就労支援アドバイザーによる作業学習の改善 (12回以上) | <12回> |
| 各学部オリ・パラ教育の実施 (各学部35時間) | <各学部35時間実施> |
| 中学部・高等部ボッチャ大会の実施 | <中・高ともに大会形式を変えて実施> |
| 特別支援教育免許保有率 (90%以上) | <89.7%> |

イ 生活指導

| | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 人権尊重教育推進校の取組 (人権教育公開研究会 : 令和3年1月27日) | <外部紙面発表・1/27校内教員研修, (講師招聘2名)> |
| ヒヤリハット事例の収集・分析 (150件以上) | <114件 : 職員会議にて分析結果周知> |
| 地域と連携した宿泊防災訓練の実施 (参加者100名以上) | <中止> |
| 特別支援教育コーディネーターと連携した支援会議の充実 (ケースにより随時) | <中:1名, 高:6名> |
| 定期的な施設連絡会の充実 (3回以上) | <書面開催> |
| 登下校に関する交通状況や天候による判断等の迅速な情報提供 (随時) | <109回> |

ウ 進路指導

| | |
|------------------------------------|----------------------|
| 高等部卒業生全体の企業就労率 (30%以上) | <32/71:45.0%> |
| 企業就労希望者就労内定率 (90%以上) | <32/33:97.0%> |
| (生徒向け)進路先見学実施 (中学部1回以上・高等部1学年1回以上) | <中:1回, 高:1回, 徒歩実施> |
| (保護者・教員向け)進路先見学実施<PTA主催含む> (10回以上) | <中止> |
| (教員向け)進路研修実施 (3回以上) | <2回実施> |
| (保護者向け)進路学習会の実施 (4回以上) | <2回実施> |
| (PTAと連携した)福祉サービス学習会の実施 (1回以上) | <中止> |
| (企業等関係機関向け)校内見学会の実施 (5件以上) | <見学会は中止、来校希望企業:個別案内> |
| 地域別懇談会の実施 5市1町 (1回以上) | <全て中止> |
| 進路だより発行数 (5回以上) | <5回発行> |

エ 体づくり・食育・健康教育

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 救急救命講習(6/7)、食物アレルギー対応訓練(4/3) (全員実施) | <中止> |
| 東京都統一体力テストを活用した個人目標の設定と取組 (高等部生100%) | <実施> |
| 歯科衛生士による歯科指導実施 (小1、小4、中1、高1にて実施) | <中止> |
| 養護教諭による肥満・食育指導実施 (10名以上) | <23名> |
| 学校保健委員会による健康教育の改善・充実 夏季休業中講演会 (1回) | <実施> |
| 外部専門員による摂食指導と摂食研修 夏季休業中研修会 (1回) | <7/31実施> |
| 精神科相談の実施 (11回) | <10回実施> |

オ 特別活動・部活動及びスポーツ振興

| | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| 各学部の学年活動及び行事の保護者への情報提供（随時） | 〈随時提供〉 |
| 地域人材活用による部活動の充実（マラソン部2名活用） | 〈マラソン部2名活用〉 |
| 運動部の各種大会への積極的参加（10回以上） | 〈サッカー部：FIDカップ参加〉 〈マラソン部：奥多摩溪谷駅伝参加〉 |
| 文化部や作業班による社会貢献活動への参加（4回以上） | 〈羽村市花いっぱい運動、その他中止〉 |

カ 特別支援教育のセンター的機能

| | |
|--|----------------|
| 学校公開（2回実施、延べ参加人数480名以上） | |
| 〈学部ごとに工夫して1回開催：高等部86名、中学部18名、小学部59名、合計：163名〉 | |
| 都教育委員会事業である専門性向上事業への取組（福生市・東大和市）（24回実施） | 〈2市12回〉 |
| 地域関係機関相談回数（40回以上） | 〈10回〉 |
| 地域関係機関研修回数（30回以上） | 〈10回〉 |
| 副籍交流の実施（130名以上） | 〈107名〉 |
| 直接交流の実施（50名以上） | 〈27名〉 |
| 幼児特別支援学校体験教室（夏季休業中の実施、延べ参加人数10名以上） | 〈中止、紙面報告〉 |
| 就学前施設見学会の計画・実施（2回） | 〈1回実施8/3:2名参加〉 |
| 教材展示会の実施（4回以上） | 〈3回実施〉 |
| 本人講座の実施（3回） | 〈中止〉 |
| ボランティア養成講座の実施（4回） | 〈中止〉 |

キ 学校経営・組織体制

| | |
|-----------------------------------|--|
| 服務事故・個人情報紛失事故（目標0件） | 〈0件〉 |
| 体罰・いじめ根絶のための研修会の実施（年3回以上） | 〈3回実施〉 |
| 人権に則した呼称の徹底（全学部で「さん」付け） | 〈就学相談等、幼児への対応は呼びなれた呼称〉 〈高等部生徒アンケート/乱暴な言葉4件〉 |
| 人権に則した指導姿勢の徹底 | 〈継続〉 |
| 学校評価アンケート保護者回収率（80%以上） | 〈75.0%〉 |
| 職員検診の受診率（100%） | 〈100%〉 |
| 「ライフ・ワーク・バランス」の実現（教員アンケート結果75%以上） | 〈81.3%〉 |
| 学校ホームページ更新回数（年間120回以上） | 〈252回〉 |

2 次年度以降の課題と対応策

(1) 教育面

- 専門性の向上 《大切にしたい3つの基本》【人権・学び・態度】の羽村
 - ・人権研修 ➡ 白梅学園大学 堀江 まゆみ 教授
 - ・学び研修 ➡ 上越教育大学大学院 村中 智彦 教授
 - ・態度研修 ➡ 東京学芸大学 菅野 敦 名誉教授上記3名を中心とした研修の充実
- 新学習指導要領への対応（今後10年間を見据えた教育課程の検討）
 - ・【教科会】による推進 ➡ 羽村の学び(シラバス)作成、各教科年間指導計画の見直し
- ICTの活用
 - ➡ デジタルサポーターの活用
 - ・ ICT タブレット(iPad)、統合型学習支援サービス 0365 を活用した新しい授業形態の工夫

- 実態把握に基づいた根拠のある指導の充実
 - ➡ 研修研究部・進路指導部と各学部主任での取組
 - ・NCプログラム、太田ステージ ⇒ 小・中学部主任
 - ・「日常生活の指導」の手引き ⇒ 小・中学部進路担当
 - ・就労準備チェックシート ⇒ 高等部進路担当
 - ・Vineland-II適応行動尺度(小5, 中1, 高1で実施) ⇒ 研修研究部
 - ➡ 教材ライブラリー担当者を中心とした教材・教具の工夫
 - ・教材開発アドバイザーの積極的活用

- 卒後の安定した生活(定着率の重視を含む)を目指した学校全体での進路指導。
進路に関する適切な情報提供と必要な説明責任を果たし、合意形成を図りながらより良い進路選択の実現 <自己選択・自己決定の力を付ける>
 - ➡ 児童・生徒を中心に据えた、保護者・担任・進路指導部・コーディネーター・関係機関による連携強化

- 特別支援教育のセンター的機能の充実
 - ➡ 特別支援教育コーディネーターによる都教育委員会事業(専門性向上事業)3年間の取組➡ 終了
 - ・地域関係機関での研修会・相談の充実
 - ➡ 教育相談部を中心とした就学相談・入学相談及び副籍交流、学校体験教室

- 作業学習や部活動、(小学部高学年・中学部1,2年生の生活単元学習)を通じた地域貢献
 - ➡ 作業リーダー会・部活動顧問会、(学年主任+教科担当者会)の活性化

- 保護者・地域への発信と連携
 - ➡ 各学部及び情報機器管理部
 - ・参観機会の拡大と広報活動の工夫。地域や外部人材を活かした教育活動

(2) 人材面

- 東京都コンプライアンス基本方針の徹底 【服務事故ゼロ】➡ 教育活動ストップゼロ
 - ➡ 管理職による研修の充実とタイムリーな情報提供及び注意喚起

- 人権感覚の精錬【自分も他人も大切に作る児童・生徒の育成】
令和元年度・2年度人権尊重教育推進校レガシー ➡ 人権教育を成立させる基盤の強化
 - A 学校組織づくり(学校が変わる)
 - ・分掌・委員会組織を活かしたワークから気付きや再確認事項・課題の拾い上げ
 - B 教員の資質向上(教師が変わる)
 - ・講師招聘研修会(大学教授)・全員研究授業
 - C 地域・家庭連携(地域が変わる)
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした地域支援・理解啓発など
 - D 学習・授業づくり(子供が変わる)
 - ・自尊感情を育む授業づくり ★キープ・セーフプログラムなど

- 外部機関や多様な人材と協働する資質・能力の向上
 - ➡ 専門性向上に向けた講師招聘(研修研究部)
 - ➡ 外部専門員の積極的活用(研修研究部)
 - ➡ 就労支援アドバイザーの活用(進路指導部)
 - ➡ 進路学習に向けた講師招聘(進路指導部)
 - ➡ 教材開発アドバイザーの活用(教材ライブラリー)
 - ➡ 態度の育成(管理職・主幹教諭)

- 経営企画室との連携及び経営参画
 - ➡ 校内のより積極的な情報共有、各種ルールの遵守
- ライフ・ワーク・バランスへの意識改革
 - ➡ 定時退庁日の設定、定時外時間超リストを活用した個別指導

(3) 施設面

- 児童・生徒増による施設不足【子供の教育環境整備】及び施設改修工事への対応
 - ➡ 管理職と経営企画室及び教務部との連携（工事日時の周知）
- 障害者スポーツの振興による施設整備【都立学校活用促進モデル事業】 ➡ 身障者トイレ改修完了
 - ➡ 管理職と経営企画室及び学校開放担当との連携
- 天候の異変による豪雨対策
 - ➡ 管理職判断のもと生活指導部と技能主事との連携 ➡ 修繕要望継続中
- 倉庫内物品の有効活用とクリーンデスクの更なる徹底 ➡ 適正な予算計上
 - ➡ 主幹会・学部主任会・学年主任会の活性化
- 野鳥の飛来による被害への対応
 - ➡ 管理職と経営企画室及び学校経営支援センターとの連携